

おもちゃの作り方をしょうかいしよう (2年)

指導目標

- 作り方がわかるように絵にかいて、作り方や遊び方がわかるように、順序よく話す。
- 知らせたいことを選び、事柄の順序を考えながら、相手にわかるように話すこと。
- 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。

学習材について

本学習材では、『きつつき』（説明文）において、「きつつき」というおもちゃの作り方を事柄の順序に従って正しく読み取る学習をしている。ここでは、その学習をさらに発展させながら、「はじめに」「つぎに」などの言葉を用いて、作り方の順序が相手によくわかるように話す学習をすることがねらいである。

そのためにも、『きつつき』という学習材をただ説明的文章として読み進めていくのではなく、常に自分で作るということを意識させたい。また、読んで作って終わりにするのではなく、作りながらまた学習材文に戻るといったことも大事である。このような活動をとおして、順序の説明の仕方を読み取ったり、また、自分で説明する表現活動に生かしたりすることができるようにする。

本学習材では、身のまわりにあるものでおもちゃを作り、学級の友達に紹介することをねらいとしている。作り方がわかるように絵をかき、作り方や遊び方がわかるように、順序よく話す。しのぎさんの“ぶんぶんごま”を作る順序と説明の仕方を確かめながら、自分はどんなおもちゃを作りたいかを考える。そして、自分で作ったおもちゃの作り方や遊び方をみんなに紹介することをとおして、相手意識を養い、対話指導「話す・聞く」ことにより、「事柄の順序を考えながら話すこと」や「大事な事を落とさないように聞くこと」の能力を身に付けさせたい。

「A 話すこと・聞くこと」の目標と内容

目 標

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。

内 容

- (1) 話すこと・聞くことのために、次の事項について指導する。
- ア 知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話すこと。
 - イ 大事な事を落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
 - ウ 身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと。

第2学年で学習する、「A話すこと・聞くこと」の相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くこと。また、話し合おうとする態度を育てる。また、言語活動例「自分が体験した事などについて話をすること」「友達の話聞くこと」を取り入れて指導していきたい。

学習指導計画(全8時間)

展開・時	学習活動	留意点
第1時	○学習内容をつかみ、これからの学習計画を立てる。 ・P56・57を読む	○学習計画を立てさせる。 ・手作りおもちゃについて発表させる。 ・写真の4つのおもちゃについて知っていることを自由に発表させる。 ・自分が作りたいおもちゃについて考えさせる。
第2時	○学習課題をとらえる P58・59から	○ぶんぶんごまを作る順序と説明の仕方を確かめる。 ・しのざきさんの工夫を読み取る。 ・『きつつき』と比べる。 ・自分のおもちゃの材料・作り方・設計図を考えさせる。
第3～5時	○手作りおもちゃを作る。 ・材料 ・用意するもの ・長さや太さ (数字で表すこと)	○どのように説明するのか意識させながら作らせる。 ・説明のための絵を書かせる。 ・作り方の説明を意識させる。 ・図画工作にならないよう気をつけさせる。
第6時	○説明の練習をする。 ・材料 ・用意するもの ・作り方 ・説明の順序	○おもちゃの作り方や遊び方の説明の準備をする。 ・相手にわかるように工夫させる。 説明の順序……箇条書き 常体の文章で、短く ・リハーサルをさせ、そのつどアドバイスをする。
第7～9時	○おもちゃの作り方や遊び方をみんなの前で発表する。 ・発表会の形式 ○おもちゃで遊んだり、友達のおもちゃを作って遊ぶ。 ○説明の仕方について話し合う。	○ポスターセッションのような形式で発表会をさせる。 ・初めに発表するグループと、聞くグループを決め、決められた時間で交代させる。 ・聞く児童は、「作り方」「遊び方」に焦点をしばって聞き、わからないところを質問できるようにさせる。 ○自分のおもちゃで遊んだり、友達が紹介したおもちゃを作ったりして遊ばせる。 ・おもちゃを作る。 ・おもちゃで遊ぶ。 ○説明のよかったものを取り上げ、もう一度全員の前で説明させて、具体的に発表の仕方を検討させる。 ・全体で確認する。

第10時	○自己評価する。	○話し方，聞き方を振り返り，自己評価させる。
------	----------	------------------------

本時の展開(本時7 / 10)

目標

- ・自分で作ったおもちゃの作り方や遊び方をみんなの前で発表することができる。

評価規準

ア 説明の仕方を考え，相手意識をもって発表しようとする。(関心・意欲・態度)

イ 事柄の順序を考えながら，相手に分かるように「作り方」「遊び方」を話したり，大事なことを落とさないようにしながら，目的意識をもって興味深く聞いたりする。(話すこと・聞くこと)

展開例

学習活動	学習内容	指導・援助と評価の創意工夫
1 本時の学習課題を確認する。	学習の進め方 <div style="border: 1px solid black; background-color: #008080; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ぼく・わたしのじまん！ 手作りおもちゃ発表会をしよう。 </div>	○おもちゃの作り方や遊び方の説明を相手意識をもたせ，わかりやすくさせる。
2 発表会をする。 ・教科書 ・絵 ・グループ	○手作りおもちゃの作り方，遊び方の説明 【作り方】 ・材料 ・手順 ・注意 など ・長さや太さや色等を表す具体的な言葉 ・声の大きさ，はやさ，間の取り方，絵の使い方 【遊び方】 ・順序を表す言葉 はじめに，つぎに， まず，つぎに， それから，おわりに など	○おもちゃの作り方や遊び方をわかりやすく説明したり，友達の説明を「自分も作って遊ぶとしたら」という目的意識をもって聞くことができるようにする。 話・聞：作り方や遊び方の順序を考えながら，相手にわかるように話したり，大事なことを落とさないようにしながら，興味をもって聞いたりすることができたか。 ○順序を表す言葉を正しく使いながら説明し，聞くポイントに気づかせる。 ○質問も受け付けるようにさせる。
3 よい説明の仕方を取り上げて話し合う。	○具体的によかったところや改善点について指摘 ・評価カードを用意して，相互評価させる。 ・作り方 ・遊び方	○聞いた友達に指摘してもらいよりよい説明の仕方になるように工夫する。 ・作り方・遊び方がよくわかったか。 ・声の出し方や説明の仕方

<p>4 各自説明の仕方を工夫し，練習する。</p>	<p>○わかりやすい説明の仕方を工夫し，各自練習する。</p>	<p>指摘してもらったことを参考に改善して，わかりやすい発表をするために練習させる。</p>
<p>5 本時のまとめと次時の予告</p>	<p>○相手意識を心がけ，わかるように説明する。 ○友達のおもちゃを作る。</p>	<p>○指摘してもらったことを参考に改善して，わかりやすい発表をするために練習させる。 ○自分が紹介したものや友達が紹介したものを作って遊ばせる。</p>